

学校教育目標	「つなぐ」=『自らの成長を自覚し、適切に行動できる 岡津っ子』 ①教材と児童、児童と児童、児童の過去・現在・未来 ②学校、家庭、地域 「知」一人ひとりが学ぶ楽しさと創り出す喜びを感じて自分の学びを大切に、自主的に学び続ける子を育てます。 「徳」他者を思いやり、規律を守って集団行動をしながら互いのよさを認め合う子を育てます。 「体」心と体の健康を大切に、自分や人の生命を大切にする子を育てます。 「公」地域のひととのコミュニケーションを通して地域社会の活動を大切にしようとする子を育てます。 「開」様々な人とのコミュニケーションを通して自然や社会に目を向ける子を育てます。				
	創立 101 周年	学校長 下畝 直人	副校長 松谷 隆広	2 学期制	一般学級: 16 個別支援学級: 5
学校概要	児童生徒数: 492 人 主な関係校: 岡津中学校、上矢部小学校				

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	岡津中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
<自分づくりに関する力> <持続可能な社会の創造に貢献する力>	岡津中学校 岡津小学校 上矢部小学校	主体的に自分の想いを表現していく子ども ----- 教職員の理解のもと、一人ひとりの子どもの心の居場所と役割のある学級づくりに取り組んでいます。また、小中交流を通して、子どもたちが安心して、期待感をもって中学校に進学できるようにします。

中期取組目標	○「自らの成長を自覚し、適切に行動できる岡津っ子」の実現を目指して、保護者や地域と連携しながら、「一人ひとりが大切にされ、主体的に考え行動できる児童の育成」を推進していく。 ・「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて、不断の授業改善を行うことで学力向上を図っていく。 ・すべての児童が安心して登校し、学校に居場所がある実感をもてるような児童指導を行う。 ・心と体の健康に興味をもち、自ら意識して生活習慣・運動習慣・学習習慣を身に付けることができるようにする。 ・社会性・道徳性を6か年の中で、段階的に身に付けることができるようにする。 ・キャリア教育の視点をもち、子どもたちが自分自身のなりたいたい姿を具体的にイメージすることができるようにする。
--------	---

重点取組分野	具体的取組
知 生きて働く知	① 「主体的・対話的で深い学び」のある授業を実践し、基礎・基本をしっかり身に付けることができるようにするとともに、主体的に考え、意欲的に学び続けることができるような態度を身に付けられるようにする。 ② さまざまな社会の出来事を自分事としてとらえ、様々な情報をいろいろな角度から精査したり、知識を相互に関連付けたりして、物事を深く考える習慣を身につけ、学びを人生や社会とつなげ、豊かな発想をはたかせることができるようにする。
担当 研究推進部	
徳 豊かな心	① 自己肯定感・自己有用感を高め、自分をかけがえのない存在として大切にすることを養う。 ② 社会のルールを進んで守ろうとする意識をもち、他者とよりよく生きていくことができるよう、相手の立場や気持ちを思いやって行動できる優しさを育む。 ③ ペア学年(1.6年、2.5年、3.4年)での仲良し活動を年間を通して行い、異学年交流を通して思いやりの心情を育てる。
担当 児童指導部	
体 健やかな体	① 運動する機会を増やし、体を動かす習慣付けを図る。年間を通じて縄跳びや持久走に取り組み、基礎体力の向上を図る。 ② 「地産地消」に積極的に取り組み、社会科や総合の学習などで地域の農家の方の協力を得て野菜作りを行う。 ③ 生活リズムを整える(早寝早起き・朝食・歯磨き)働きかけを学校全体で取り組み、合わせて新型コロナウイルス感染予防も引き続き行っていく。
担当 体育部	
公開 公共心と社会参画	① キャリア教育をカリキュラムの中に取り入れ、職業観をもったり自立に向けての社会的な興味・関心を高めていく。 ② 岡津の地域を愛し、地域のために貢献しようとする人材を育成する。
担当 生活・総合部	
いじめへの対応	① 子どもたちが気軽に学校生活の不安を相談できるように、カウンセリングマインドの精神をもって全職員が指導にあたる。 ② 組織的に対応するため、日頃より報・連・相を徹底し、速やかに情報共有し、担任が抱え込まないような指導体制を構築する。 ③ 「いじめ防止対策委員会」を定期的に開催し、いじめについて内容共有し、どの職員でも同じように指導や対応ができるようにする。また、相談室を居場所として位置付け、第2の教室として活用する。
担当 児童指導部	
人材育成・組織運営(働き方)	① メンターチームを5年以下の教職員を中心に組織し、メンター長を中心に自分たちで研修の計画を立てる。主に授業研究を中心に進めながら、必要に応じて研修を行う。 ② 会議を精選し、効率的に話し合いを行う。ミラ임을使って連絡事項等はもれや落ちがないようにしていく。 ③ 時間外勤務を減らすため、学期末などには5時間授業を増やすなど、事務作業の時間を確保していく。
担当 教務部	
特別支援教育	① 「特別支援教室実践校」として、保護者のニーズに合わせて「取り出し」や「入り込み」を行い、児童の困り感を解消していく。 ② SSWや学校カウンセラーと連携して、保護者の困り感に寄り添い、よりよい学校生活が送れるように支えていく。 ③ 配慮が必要な児童については、個別の支援計画を作成し、同じ目線で指導ができるように連携していく。
担当 児童指導部	
児童生徒指導	① 「岡津っ子スタンダード」を随時見直ししながら、基本的な生活習慣をしっかり身に付けることができるようにする。 ② 定期的に職員会議等で児童の様子を共有し、気になることがあればその都度確認していく。 ③ 言葉遣いや生活態度など、学年に応じた指導を行っていく。
担当 児童指導部	
ICT推進	① GIGAスクール構想を推進し、授業の中で効果的にICTの活用を図っていく。 ② IPADの管理を徹底し、児童が正しく使用できるよう指導していく。 ③ 教職員の研修を行い、常にアップデートしていく。
担当 情報・視聴覚	
キャリア教育	① 長いスパンで「自分づくり教育」を行っていく。幼保小連携や小中連携でも意識して取り組んでいく。 ② 子どもたち一人ひとりが自分に自信をもち、社会や集団の中で自分の役割を意識し、岡津の地域や横浜に貢献していくことで、夢や希望、目標をもてる子どもを育成する。
担当 教務部	